



2025 年 10 月 7 日

報道関係者各位

慶應義塾大学

慶應義塾とあずさ監査法人が協定を締結

— あずさ監査法人として初の大学連携協定、大学発スタートアップ創出を支援 —

慶應義塾大学（所在地：東京都港区、塾長：伊藤公平）と有限責任 あずさ監査法人（所在地：東京都新宿区、理事長：山田裕行、以下「あずさ監査法人」）は、スタートアップ創出支援および成長支援に関する協定（以下「本協定」）を締結いたしました。

本協定の締結を踏まえ、慶應義塾の教育・研究成果の社会実装を通じた、社会課題の解決およびイノベーション創出による社会貢献を推進し、さらに持続的に社会へ影響を与えるイノベーション・エコシステムの活性化およびスタートアップ・エコシステムの形成を進めます。

尚、あずさ監査法人において、これまで企業等向けに展開してきた専門的な知見やグローバルネットワークを、大学発スタートアップに応用し、研究成果の事業化の伴走支援体制に寄与する協定の締結は、初めての取組となります。

1. 本協定締結の背景

近年、社会課題の複雑化と産業構造の転換が進むなかで、社会課題の解決と持続的な経済成長を実現するためには、科学技術の進展やイノベーションの創出がますます重要性を増してきています。その担い手として注目されるのが、大学等のアカデミアから生まれる研究成果をもとに設立される大学発スタートアップです。特に、ディープテック領域においては、医療・環境・エネルギーなど地球規模の課題解決に資する可能性を秘めており、社会実装を通じた新たな産業の創出や国際競争力の強化に向けた期待が高まっています。

慶應義塾では、「全社会の先導者たらんことを欲するものなり」という創立者 福澤諭吉の志に基づき、2018 年、慶應義塾大学イノベーション推進本部を設立。教育・研究成果の社会実装に向けた、事業化や起業支援、アントレプレナーシップ教育を推進し、大学全体のスタートアップ・エコシステム構築に取り組んでいます。2023 年には、世界規模の社会課題解決ができるようなディープテックスタートアップの創出と育成支援を目的とし、「慶應スタートアップインキュベーションプログラム（KSIP）」を開設。ディープテック分野を中心とする研究者・起業家に対して実践的な伴走支援を行ってまいりました。

KPMG のメンバーファームであるあずさ監査法人は、革新的な技術や新しいビジネスモデルを持つ企業や起業家の発掘・育成・支援を行い、社会に新たな価値を生み出すことに取り組んでいます。日本においては、産業構造の変化や社会課題の解決を見据え、大学発スタートアップの成長を後押しし、知的財産や研究成果が社会で活用される仕組みづくりを進めてきました。Clients & Markets 本部 インキュベーション部では、グローバルな知見と専門性を基盤に、資金調達や事業計画策定、ガバナンス整備など、成長段階に応じた支援を提供しています。環境・医療・人材といった幅広いテーマに挑むスタートアップと共に歩み、持続可能な社会の実現に貢献することを目指し、社会的インパクトを重視した支援活動を展開しています。

こうした背景のもと、慶應義塾大学はディープテック分野の事業化に欠かせない教員・研究者の経営的視点や会計的視点の涵養を進め、その成長を支援することで、スタートアップの事業化を一層強固にしていきます。また、あずさ監査法人は、グローバルネットワークと専門知見を活かし、大学発スタートアップを含む次世代産業の担い手を育成・支援することで、社会価値の創造と持続可能な社会の実現に取り組めます。

本協定を通じて、両者それぞれの強みを結集させることで、教育・研究成果の社会実装を通じて社会課題の解決とイノベーション創出に貢献し、共に持続可能なイノベーション・エコシステムの発展を実現していきます。

2. 本協定の概要

主に、以下の事項について相互に連携し、協力を行って参ります。

- (1) 学術研究の成果を社会還元し、研究成果の社会実装化を図ること
- (2) 大学全体におけるスタートアップ・エコシステムの構築
- (3) 慶應スタートアップインキュベーションプログラムにおける実践的支援

3-1. 慶應義塾大学イノベーション推進本部について

慶應義塾大学イノベーション推進本部は、教育・研究成果の社会実装を通じて、社会課題の解決とイノベーション創出による社会貢献を推進しています。その実現に向け、持続的に社会へ影響を与えるイノベーション・エコシステムの活性化とスタートアップ・エコシステムの形成を目指し、アントレプレナーシップ教育の普及、研究成果の事業化支援、知的財産の権利化、産学連携、スタートアップの創出・成長支援など、多様な活動を学内外のステークホルダーと連携して進めています。

URL : <https://innov.keio.ac.jp/>

3-2. 慶應スタートアップインキュベーションプログラム (KSIP) について

慶應義塾大学の研究成果の事業化を目指し、本学に所属する教職員・学生が創業メンバーの主体として参画するグループを対象にした、ディープテックスタートアップの創業と成長を支援する全学レベルのインキュベーションプログラムです。「大学のディープテックシーズから、ユニコーン企業に成長するポテンシャルを有するスタートアップを継続的に輩出し、研究成果のグローバルな社会実装を通じて、経済や生活にインパクトをもたらす」というビジョンを掲げ、各グループの法人設立・資金調達に向けて、事業計画の具体化やスタートアップ設立の準備実行を支援します。

URL : <https://innov.keio.ac.jp/startup/support/ksip/>

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部・教育部・文化部等に送信させていただいております。

・内容についてのお問い合わせ先

慶應義塾大学 イノベーション推進本部

広報担当：大司奈緒

E-mail : innov-pr-group@keio.jp

あずさ監査法人 広報部

広報担当：佐分利夢

E-mail : kpmgjapan-pr@jp.kpmg.com

・本リリースの配信元

慶應義塾広報室 担当：道祖土（さいど） TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

E-mail : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>